

第5回土橋自然観察教育林連絡協議会議事録

期 日：平成26年3月19日（水）19時00分～21時00分

場 所：厚沢部町図書館会議室

出席者：北川広幸（教育委員会事務局主幹）、石井淳平（社会教育係）、水本絵夢（教育林コーディネーター）、協議会員3名

議事要点

(1) レイアウトについて

・厚沢部町内に自生する種とそうでない種に区分した情報を記載する。その際に、「あっさぶにむかしからある」というように「自生」の範囲を明記したわかりやすい表現にする。

(2) 個別の情報について

- ・雌雄異株の樹種についてはその情報を記載する。
- ・ブナについて、波鋸歯のどこから葉脈が出るか記載する。
- ・ヒノキアスナロについて、「檜山林業を支えてきた」という表現を「松前藩に縁がある」という表現に改める。
- ・ヒノキアスナロについて、「厚沢部町が自生北限」という表現を「厚沢部町付近が自生北限」という表現に改める。
- ・トドマツについて、「厚沢部町付近が自生南限」という情報を記載する。
- ・ニオイヒバについて、用途に生垣を追加する。
- ・シウリザクラについて、香りにまつわる情報を記載する。
- ・ドロノキについて、ポプラと交配させているという情報を記載する。
- ・ホオノキ等、食にまつわる情報のある樹種についてはできるだけ記載する。

協議事項 樹名板記載内容の最終確認

(1) レイアウトについて

水本：自生・外来と樹名板の頭につけて区分したいと考えているが、クロマツやカラマツは日本では自生種。ただし、道南では自生していない。それらを区分するために自生、外来、植林に分けてはどうか。

会員A：植林では林業で植えたということにならないか。自然状態の区分をここでする。自生であるという情報ははっきり示したい。

水本：「自生」という表現の示す範囲をはっきりさせたほうがいい。

会員A：道南に領域を限定することが良いと思う。林学の立場では、「自生」という表現の示す範囲とはどのようになっているか。

水本：一般的な図鑑などでは日本国の領域を基準に外来と自生を分けている。

水本：単に「自生」という表記だけでは見る人によっては、その範囲が日本を示していると誤解されてしまうかもしれない。

会員B：外来とは国外から来たものをイメージさせる。かえって何もかかずに分布や原産地のところで示せば良いのではないか。

会員A：自生という言葉がもっとも一般的なので、自生という用語で示してはどうか。自生の定義が示せば良いと思う。

会員C：見本林入口の看板等に自生の定義を表記すればいいかもしれない。

会員A：自生という情報は不可欠だと思う。植栽されたものがたくさんある状況では、

もとから厚沢部に自生する木とそうでない木を分ける事は重要だと思う。

会員C：厚沢部にあるかないかが示されているのは楽しいと思う。

会員A：世界中から木をもってきているので、見る目を養うためにも自生かどうかは重要だと思う。自生かそうでないかの情報は、入門者にとって最低限必要なもの。

会員C：看板の中でバリエーションをもつためには、後から情報を付け加えてもよいのではないか。

水本：自生かどうかをシールで表現してはどうか。

石井：印刷できるものをシールで区分する必要はないのでは。目立たせたいならカラー印刷もできる。

会員B：専門家を相手にした資料をつくるのか、小学生に向けての表現にするのか。

水本：振り仮名付きの一行の文と樹名が基本的に子供向けの情報、その他は深く知りたい大人対象の情報というふうに想定している。

会員A：道南にあるという程度の範囲で「自生かどうか」を表現すればいい。

石井：「厚沢部にある」という風に表現してもよいのではないか。

会員C：あえておらいも君のマークだけで良いのではないか。

石井：「昔からあっさぶにあるよ」というくだけた表現で。

会員A：もともとあった木とそうでない木を区別することが重要だと思う。

北川：そこは明確にしておいたほうが良い。「昔から厚沢部にある木」というような表現で、樹名板に記載する。

（２）個別の情報について

会員A：ヤチダモなど雌雄別種の樹種について情報があつた方が良い。

会員C：アカシデとブナの見分け方として葉脈が鋸歯のどこから出ているかがポイントになる。そこも加えてはどうか。

鈴木：ヒノキアスナロの説明文で「檜山林業を支えてきた」とあるが、他の樹木も支えているのでこのみに書く必要はないのでは。

水本：ヒノキアスナロには歴史にまつわる情報も入れておきたいので「松前藩に縁のある～」などと表現を変える。

会員A：「厚沢部町が自生北限」とあるが、「厚沢部町付近が自生北限」に訂正した方がよい。

会員C：トドマツの方にも南限という情報をいれてはどうか。

会員A：ニオイヒバの用途に生垣を追加。

会員C：シウリザクラに香りについての情報を加えてはどうか。

会員A：ドロノキはポプラと交配させるのに使うので、その情報も付加。

会員B：北海道ではホオノキの葉を弁当の包みに使うようなことはないのか。そのような食にまつわる情報も提示してはどうか。